

早春に見られる花と万葉集

文：博物館

今回は早春に見られる花を二つ、万葉集の歌とともにご紹介します。

新しい元号「令和」の典拠は日本最古の歌集である『万葉集』の梅花の歌、三十二首の序文「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」です。万葉の時代、花といえば梅でした。この序文は、天平2年(730年)に大宰府で大伴旅人が庭に咲く梅の花を詠み比べる宴を催した時の、うららかな春の情景を記したものです。この序文に続いて、三十二首もの梅花の歌が記されています。

「令和」という元号で一躍注目を集めた梅ですが、石川県に住む我々にとって、とても身近な花ではないでしょうか。梅はバラ科サクラ属の落葉広葉樹です。実は梅干しや梅酒など食用になるのはもちろん、花は加賀百万石を治めた前田家の家紋にもあしらわれ、お正月に梅の形の最中、福梅を召し上がった方も多はず。また、天神さまとして親しまれる菅原道真は「飛梅伝説」が有名です。

先ほどの序文に続いて歌われた歌の中から一首をご紹介します。

「春の野に霧立ちわたり降る雪と人の見るまで梅の花散る(春の野に一面に霧が立って、雪が降るのかと人が見るほどに梅の花が散る)

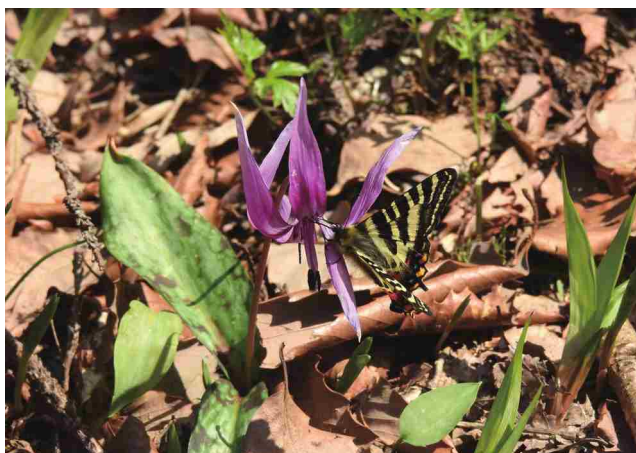
梅の花を雪と見間違える、という様子からも、長い冬が終わり春の訪れを告げる花のイメージは、1300年も昔から今も変わっていないと感じます。

万葉時代の歌人として有名なのが、越中国の国司とし

て赴任していたこともある大伴家持です。彼が越中赴任中に残した多くの歌は「越中万葉」とも呼ばれ、今も親しまれています。その中で代表的ともいわれるのが、次の歌です。

「もののふの八十娘(おとものやかもち)らが汲みまがう寺井(かたかこ)の上の堅香子(かたかこ)の花(た)くさんの少女(かたかこ)たちが入り乱れて水(かたかこ)を汲んでいる寺の井戸(かたかこ)のほとりに咲いている、かたかごの花)

この「堅香子の花」とはカタクリの花と言われています(諸説あり)。カタクリはユリ科カタクリ属の多年草です。かつては市内にも群生地がいくつかありましたが、その美しい花を求めて乱獲され、その数は減少しました。今も数少ない群生地には、カタクリの花を好むギフチョウという蝶がやってきます。紫の可憐な花の間をヒラヒラと蝶が舞う光景はとても美しいものです。こうした自然を守るためにも、山野に自生する植物はむやみに持ち帰らず、その場で楽しみたいものです。



カタクリとギフチョウ

人口と世帯数

2020年2月1日現在

●人口 50,231人
(前月比-36)
男 25,055人 女 25,176人
●世帯数 19,283世帯
(前月比-23)

ひぼ・ゆずのEcoでえこっさア

【ペットボトルのポイント】

- ・軽く水洗いしてください。キャップとラベルはブラへ。(キャップは保育園などでも回収しています)
- ・焼酎や調味料のペットボトルもOKです。
- ・ペットボトルは工場を選別され、細かいフレーク状になります。その後、衣料品や卵パック、洗剤のボトルなどに再生されます。
- ・みなさんの分別のおかげで有効にリサイクルされています!



問い合わせ 生活環境課 (☎ 58-2217 ☎ 58-2292)

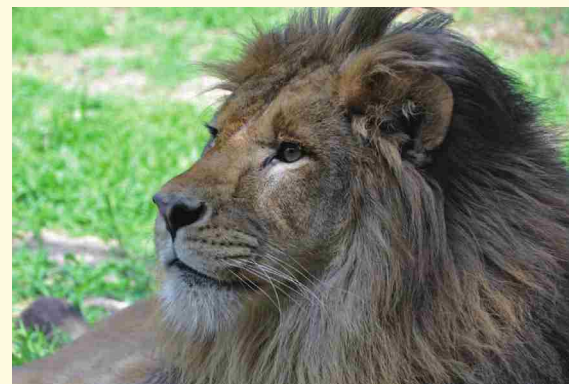


いしかわ動物園に行こう!

文：いしかわ動物園

■ 野生動物界に君臨する“われらネコ族”

3月11日(水)から始まる特別展「われらネコ族」では、ネコたちもつ高い運動能力について紹介します。ネコ科の最大の特徴は、狩りをするために身に付けた、高度な身体能力です。基本となる走力をはじめ、体高の数倍に達するジャンプ力、飛ぶ鳥をも捕獲する動体視力、相手を押さえつけるパワーなど、狩りに必要なあらゆる要素を身に付けています。



▲インド西部〜アフリカ大陸の野生動物界に君臨するライオン

地球上で哺乳類がすむ主だった地域では、オーストラリア大陸と一部の島嶼を除けば、ほとんどの地域に中〜大型のネコ科動物が生息しています。しかし、かつては人的被害をおよぼす危険動物として、前世紀には私たちの好奇心を満たす見世物や美しい毛皮の供給源として、野生のネコたちが狙われ続けました。その結果、現在ではネコ科動物の多くが、絶滅危惧種となってしまったのです。

ネコたちは、なぜ私たち人間が恐れるほどの身体能力を身に付けているのか、そして、そんなネコたちが絶滅すると、いったい何が起ころのか、この特別展で、じっくりとご覧ください。

■ 特別展「われらネコ族」

期間 3月11日(水)
～5月11日(月)



みんなの図書館

おすすめの一般書



国道食堂

しょうじ ゆきや
小路 幸也 [著]
徳間書店

おすすめの児童書



ちらしずし

はまの ゆか [作]
光村教育図書

ちょっと田舎にあるけれど、何を食べても美味しい食堂(ルート517)。そこは、お店の中にプロレスのリングがあって…。ちょっと変わった店に通う人々の様々なドラマを描く。

ひなまつりのパーティをひらくことにしたしゅうくんとはまのちゃんは、ちらしずしとはまぐりのお吸い物を作ります。レシピの本には、ひなまつりにぴったりのいろいろな食べ物が出ていて…。親子で楽しむ食育絵本。

Event

■ 寺井図書館

「らいちゃんミニコンサート」
日時 3月17日(火) 12時30分～13時
出演 白石英恵さん
内容 ソプラノ・ハープ・ピアノ演奏
対象 どなたでも

■ 「古本市」

古くなった雑誌などを、1冊20円でお譲りします。(1人1日5冊まで) 小銭をご用意ください。

寺井図書館

期間 3月1日(日)～13日(金)
辰口図書館
期間 3月14日(土)～31日(火)

■ 休館のお知らせ

辰口図書館…3月2日(月)～13日(金)まで蔵書点検のため休館いたします。根上・寺井図書館をご利用ください。

根上図書館…3月15日(日)

全日本競歩能美大会が学習センター周辺で開催されるため、臨時休館します。

なお、資料整理休館日の3月13日(金)は開館します

※詳しくは、ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

のみ古墳女子活動報告

古墳クッキーづくり

2月8日、バレンタインにちなんで、古墳をモチーフにしたクッキーづくりを行いました。

クッキーを焼いている間に、能美市と小松市の古墳について学び、講師の加藤さん（アイシングクッキー教室・販売 星のかけら）指導のもと、焼きあがったクッキーへのアイシングにも挑戦しました。

最後に、美味しいクッキーを試食しながら、能美古墳群や加賀立国 1200 年の PR 方法について意見交換を行い、交流を深めました。



能美市、小松市の古墳をモチーフにしたオリジナルのクッキー型を用いたクッキーづくりの様子

1/24 育てよう一人一人の人権意識
人権啓発のため施設を訪問

小松人権擁護委員協議会能美部会の会員が市内の福祉施設ケアハウス メゾンスワニエを訪問し、人権の啓発活動をしました。

部会員による人権の話のほか、人形劇「みんなともだち」が上演され、思いやりの心の大切さが伝えられました。また、マジックショーが披露され、部会員は入居者や職員との交流を深めました。

小松人権擁護委員協議会能美部会は毎年、高齢者・障がい者施設などを訪問しています。



人形劇では、仲間はずれになっていたオオカミに友達ができるまでが描かれています。

祝百寿 いつまでもお元気で

1月10日に佐々木登美枝さん（佐野町）、1月21日に北村初枝さん（中ノ江町）、2月6日に秋山喜代さん（大長野町）がめでたく100歳を迎えられました。

お祝い状を渡された佐々木さんは、目に涙を浮かべ「ありがとうございます」と何度も感謝の言葉を口にしていました。記念品の九谷焼のカップをお渡しすると「部屋に飾りたい」と笑みを見せていました。

北村さんは読書が好きで、100歳を迎えた今も本を読まれています。80歳頃まで浜小学校で読みかきせのボランティアをされており、地域の民話や浜小学校の歴史なども児童に教えていたそうです。

秋山さんは人と話すことが好きで、若い頃は、繊維業の会社と銭湯で働いていたそうです。新聞を読むことを毎日楽しみにしており、贈呈式では「100歳を迎えられたのは皆さんのおかげです。ありがとうございます」と話されました。



細川副市長と写る佐々木さんご家族



井出市長と写る北村さんご家族



井出市長と写る秋山さんご家族

みんなで作る博物館プロジェクト!

今秋の開館をめざして、和田山史跡公園の横で新しい博物館の建設を進めています。
みんなと一緒に新しい博物館をつくってみませんか?

親子でやってみよう きのこの植菌体験

3/20
要 事前申し込み

日時…3月20日(金・祝) 10時～12時

会場…寺井地区公民館

対象…小学生以上の親子 ※必ず保護者同伴

定員…20組(1組1家族)

※応募多数の場合は抽選になります。(初参加のご家族が優先となります)
大人だけのご参加はご遠慮ください。

費用…1組 1,500円(当日集金)

申込期間…3月10日(火)～3月13日(金) 9時～17時まで

持ち物・服装…自分の手にあった作業用手袋、髪ゴムなど、汚れても良いタイトな服装(軍手、髪、スソの広いズボンなどはドリルに巻き込まれる危険があります)

ほだ木を持ち帰る際の汚れ対策(新聞紙、レジャーシートなど)

里山の魅力あふれる能美市。シイタケもその一つ。でも、どうやってシイタケは育つのでしょうか?

市内の里山から切り出したコナラの木に、シイタケの菌を打ち込む体験をします。体験を通して能美の里山やシイタケについて学びましょう!



お申し込みは博物館事務局へ!

みんなで作る博物館プロジェクトに興味のある方は博物館事務局まで。ご連絡お待ちしております。

問い合わせ 博物館事務局(☎52-8050 ☎52-8052) 日曜・月曜休館

今月の手話

「卒業おめでとう」

【卒業】

- ①卒業証書を持つイメージで、両手を握り胸の高さに構える
- ②両手を上げながら、同時にお辞儀をするように頭を少し下げる



【おめでとう】

- ③両手を軽く握る
- ④握った手を上に上げながらパッと開く



「未来・将来」

- ①開いて手のひらを前へ向けた右手を、顔の横に構える
- ②右手を前へ出す



動画配信中

「今月の手話」を動画で確認することができます。市ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

○トップページ>暮らし

>障害者福祉>手話動画

手話ページQRコード▶



問い合わせ 福祉課(☎58-2230、☎58-2294)